

## 範囲拡大を検討中の指定済み区域

### 6 川上不動尊の森及びその周辺の森林



全て 2016.8.5 撮影

新たな候補地として検討中の「宗安寺の水辺」は、指定済み区域地先の河川区域にあたる。指定にあたっては、指定済み区域を鏡川の左岸側へ広げる形となる。ただし、鏡川清流保全条例では河川区域が対象から除外されているため、河川管理者（高知県）との協議が必要。

## 削除の可能性がある候補地

### 14 夫婦岩



鏡川にある一対の巨岩。鏡川20景の一つ。河岸地形に大きな変化はなく、価値は維持されていると推察される。川沿いの県道や宅地内道路から見ることは難しい。

### 27 竹奈路河内神社とその周辺



境内告示には「老朽化した社殿の改修について氏子や神社庁とともに検討してきたが、名案もなく、ご神体を高知大神宮に遷し、社殿は取り壊し、跡地に石碑を建てることとした。平成26～27年度内に完了予定(宮司)」とある。現時点で社殿等はそのままの状態。現状で価値づけは難しいが、背後の大岩が元々のご神体だった可能性がある。いわれについて調査中だが、適当な文献がなく、地元の古老などへの聞き取りによるしかない状況。

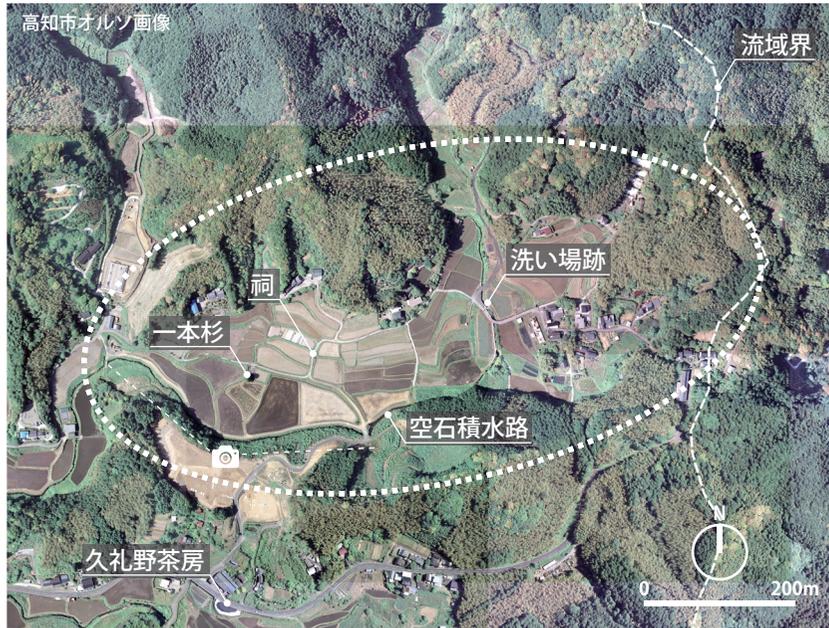
### 19 桑尾橋 (吊り橋)



本体部分がなくなり、吊橋としての機能・価値は失われ、残存するコンクリート構造物が旧道を塞いでいる。過去に高知県によって、桑尾地区を含めた「まなびのみちづくり」が構想された経緯がある。上記の残存構造物を撤去することができれば、大穴峡を含めたエリアの散策ルートとして機能を回復でき、新たな候補地となりうる。

## 新たなあり方・保全手法に基づく景観形成区域の候補地（案）

### 29 重倉地区の棚田



全て 2018.5.25 撮影



候補地としては、重倉と久礼野を合わせた区域を想定している。重倉は新材を使った住宅が目立ち、景観に農村らしさはあまり感じられない。

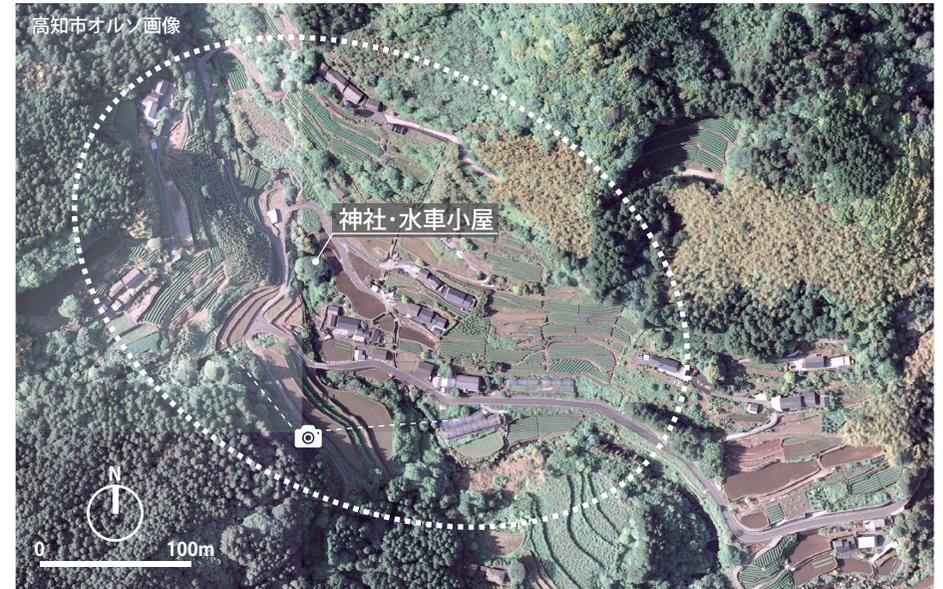
これに対し久礼野は、小高い里山が農地と宅地を取り囲んだ、落ち着いた雰囲気のある集落であり、一本松、祠、洗い場跡が残るなど、昔からの文化が大切にされているようすがうかがえる。空石積で改修された水路はホタルの生息環境として保全され、初夏のホタル観察会等に活用されている。都市住民との交流も活発であり、地域づくりの潜在力が大きいといえる。以上を踏まえると、想定区域から重倉を分離し、久礼野のみを候補地とすることが考えられる。

### 30 領家地区の棚田



行川川上流域の大規模な石垣の棚田。下部に耕作放棄地が目立ち、耕作と棚田の維持管理が課題だが、石垣の補修が空石積により行われた痕跡が見られ、その技術が地域で継承されている可能性がある。徳島県上勝町などで展開している「石積み学校」のような仕組み（技術を持つ人・習いたい人・直して欲しい田畑を持つ人の三者をマッチングして講座を開催し、技術継承と修復ボランティアを同時に行う）を導入することで、棚田の保全・活用を図れる可能性がある。

### 32 坂口地区の棚田と石垣



的湊川上流の支流域にある石垣の棚田。一部が萱場に置き換わり、茶畑、四方竹畑も混在している。倒壊しかけた空き家が見られるものの、良好な農村の景観が維持されている。川沿いに小さな神社と水車小屋がある。小屋から杵の上下動によるものと思われる音が聞こえ、集落における中心性が感じられる。想定される範囲が非常にコンパクトであるため、徒歩でもごく短時間で見学できる。